

88/806129

PCT/JP99/06177

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

05.11.99

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

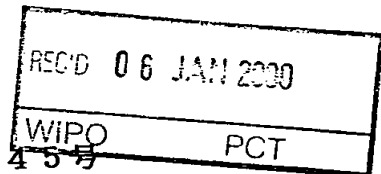
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1998年11月 5日

出願番号
Application Number:

平成10年特許願第314245号



出願人
Applicant(s):

株式会社東京放送

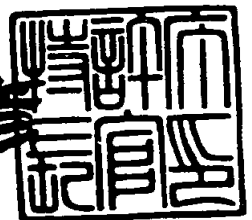
PRIORITY
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

1999年12月10日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤隆彦



出証番号 出証特平11-308530

【書類名】 特許願

【整理番号】 T063N3P004

【提出日】 平成10年11月 5日

【あて先】 特許庁長官 殿

【発明の名称】 受信端末装置、テレビジョン装置、受信端末装置の制御方法および記録媒体

【請求項の数】 16

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区赤坂 5 丁目 3 番 6 号
株式会社東京放送内

 【氏名】 原田 聡

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都港区赤坂 5 丁目 3 番 6 号

 【氏名又は名称】 株式会社東京放送

 【代表者】 砂原 幸雄

【代理人】

 【識別番号】 100079108

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 稲葉 良幸

【選任した代理人】

 【識別番号】 100080953

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 田中 克郎

【選任した代理人】

 【識別番号】 100093861

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大賀 眞司

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 011903

【納付金額】

21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 受信端末装置、テレビジョン装置、受信端末装置の制御方法および記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、

受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第 1 の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第 1 の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、

前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、

ユーザによる第 2 の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置。

【請求項 2】

前記時刻管理情報は、前記ストリームに対する時間軸上の特定位置からの相対位置を示すことを特徴とする請求項 1 記載の受信端末装置。

【請求項 3】

前記受信端末装置は、

前記表示された映像物を特定した場合に、前記画面に所定の標章を表示することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の受信端末装置。

【請求項 4】

前記受信端末装置は、前記特定された映像物を注文するための注文内容を入力する入力画面を表示することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の受信端末装置。

【請求項 5】

前記受信端末装置は、通信回線を介して前記入力画面に入力された注文内容を発注することを特徴とする請求項 4 記載の受信端末装置。

【請求項 6】

前記受信端末装置は、

前記表示された映像物を複数特定した場合に、前記特定された複数の映像物のそれぞれを前記画面に一覧表示することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の受信端末装置。

【請求項 7】

前記受信端末装置は、前記映像物情報を削除するための制御データに従って、前記記憶された映像物情報を削除することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の受信端末装置。

【請求項 8】

伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておく、

受信した前記伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第 1 の指示を受け付けた場合に、前記伝送ストリームに含まれる時間管理情報に基づいて前記第 1 の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、

前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、

前記特定した後に受信した伝送ストリームに含まれるデータ放送ストリームの中から前記特定した映像物についての映像物情報を抽出し、

ユーザによる第 2 の指示を受け付けた場合に、前記抽出された映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置。

【請求項 9】

前記映像物情報が、前記データ放送ストリームによって所定の間隔で繰り返し伝送されている場合に、

前記受信端末装置は、

前記データ放送ストリームによって所定の間隔で繰り返し伝送される映像物情報群の中から、前記特定した映像物についての映像物情報を抽出することを特徴

とする請求項 8 記載の受信端末装置。

【請求項 10】

伝送ストリームを受信する受信手段と、

前記伝送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、

受信した前記伝送ストリームに含まれる時刻管理情報および第 1 の個別ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザの操作による第 1 の指示を受け付けた場合に、前記時刻管理情報に基づいて前記第 1 の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得する時刻情報取得手段と、

前記時刻情報取得手段により前記取得された指示時刻情報と前記記憶手段に記憶された表示時刻情報とに基づいて前記表示された映像物を特定する特定手段と、

ユーザによる第 2 の指示を受け付けた場合に前記特定手段により特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とする受信端末装置。

【請求項 11】

伝送ストリームを受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した伝送ストリームに含まれる第 1 の個別ストリームを復号してビデオ信号を生成する生成手段と、

前記受信手段により受信した伝送ストリームに含まれる時刻管理情報に従って、前記生成手段により生成された前記ビデオ信号に基づく映像を画面に表示する第 1 の表示制御手段と、

前記画面に表示されるべき映像中の映像物についての映像物情報と前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、

ユーザの操作による第 1 の指示を受け付ける第 1 の操作受付手段と、

前記時刻管理情報に基づいて前記第 1 の操作受付手段が前記第 1 の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得する時刻情報取得手段と、

前記時刻情報取得手段により前記取得された指示時刻情報と前記記憶手段に記

憶された表示時刻情報とに基づいて前記表示された映像物を特定する特定手段と

、
ユーザによる第2の指示を受け付ける第2の操作受付手段と、

前記第2の操作受付手段により受け付けられた第2の指示に従って、前記特定手段により特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示する第2の表示制御手段とを備えたことを特徴とするテレビジョン装置。

【請求項12】

ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報と、前記映像物が表示されるべき画面上の位置情報とを対応付けて記憶しておき、

受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、

ユーザによる位置指定操作に基づいて位置情報を取得するとともに、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、

前記取得された指示時刻情報と前記位置情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、

ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置。

【請求項13】

ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、

受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、

前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、

ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置の制御方法。

【請求項 14】

伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、

受信した前記伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、前記伝送ストリームに含まれる時間管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、

前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、

前記特定した後に受信した伝送ストリームに含まれるデータ放送ストリームの中から前記特定した映像物についての映像物情報を抽出し、

ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記抽出された映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置の制御方法。

【請求項 15】

受信端末装置に所定の機能を実現させるプログラムを記録した記録媒体であって、前記プログラムは、

伝送ストリームを受信させる手段と、

前記伝送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶させる手段と、

受信した前記伝送ストリームに含まれる時刻管理情報および第1の個別ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザの操作による第1の指示を受け付けた場合に、前記時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得させる手段と、

前記時刻情報取得手段により前記取得された指示時刻情報と前記記憶手段に記憶された表示時刻情報とに基づいて前記表示された映像物を特定させる手段と、

ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示させる手段とを備えたことを特徴とするプログラム

を記録した記録媒体。

【請求項 16】

データを記録した記録媒体であって、

前記データは、ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物データと前記映像物が表示されるべき表示時刻データと前記映像物についての映像物情報ファイルを示すポインタとが対応付けて構成され、

前記映像物データは、受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に取得される指示時刻データと前記表示時刻データとに基づいて特定されるものであり、

前記映像物情報ファイルは、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物データに対応づけられたポインタによって読み出されるものであることを特徴とするデータを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、デジタル放送サービス技術に関する。具体的には、伝送されるストリームを受信し、映像音声出力する受信端末装置および受信端末装置の制御方法に関する。また、本発明は、この受信端末装置を含み、映像音声を出力するテレビジョン装置に関する。さらに、本発明は、これらの装置を制御するプログラムを記録した記録媒体およびデータを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来技術】

近年、情報の伝達を多様化する新しい放送形態として、地上波テレビ放送の隙間を利用した地上波データ放送が登場した。データ放送では、通常の映像音声情報（テレビ放送）と同様に、ユーザの端末にデータが配信され、このデータに基づくさまざまなサービスが提供される。データ放送を利用したサービスとしては、例えば、ショッピングサービスがある。

【0003】

このショッピングサービスでは、データ放送画面に表示されるメニューの中から

ら、ユーザは手元のリモコンを操作して、目的のショッピングサービスを選択する。ユーザは、選択したショッピングサービスの中から所望の商品を選択し、商品の発注を行うことができる。

【0004】

また、通常のテレビ放送によるショッピング番組画面にデータ放送によるデータ放送画面を連動させた番組連動型ショッピングサービスが提案されている。この番組連動型ショッピングサービスでは、番組画面に関連する商品情報リストをデータ放送画面に表示させて、ユーザは見たい商品情報があれば、リモコン等を操作してこれを表示させ、発注を行うことができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

上記従来の番組連動型ショッピングサービスにおいては、番組画面に連動するように関連する商品情報リストが表示されている間のみ、ユーザは商品情報を見て、また発注を行うこと可能である。従って、番組画面が進行して目的とする商品情報リストが表示されなくなったような場合には、もはや商品情報を見ることはできず不便であった。

【0006】

一方、ショッピングを目的とした番組でなく、通常の映画やドラマ等の番組において、その番組に映し出される商品の商品情報を見ることができ、その結果、気に入った商品であればそのまま発注することができれば便利である。しかしながら、従来のデータ放送システムでは、番組画面中に物品情報リストを表示しておく必要があるため、番組視聴の妨げになるだけでなく、番組のスポンサーとの間の利害関係を調整しなければならず、実現が困難であった。

【0007】

そこで、本発明は、番組放送中に画面に映し出された商品を特定しておき、番組放送終了後の任意の時点でその商品についての商品情報を提示することのできる受信端末装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明は以下のように特定される。

【0009】

すなわち、本発明は、ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置である。

【0010】

なお、ストリームとは、例えば、衛星放送等を介して伝送されるデジタルデータ列である。映像物とは、テレビの番組の中で映し出される人物、セット、衣装やセット等に描かれた情報そのものも含む。映像物情報とは、例えば、その映像物に関する詳細な情報である。所定の時刻管理情報とは、例えば、MPEG2技術であれば、STCやNPT等があげられる。

【0011】

また、本発明は、伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、受信した前記伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、前記伝送ストリームに含まれる時間管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、前記特定した後に受信した伝送ストリームに含まれるデータ放送ストリームの中から前記特定した映像物についての映像物情報を抽出し、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記抽出された映像物情報を前記画面に表示することを特徴と

する受信端末装置である。

【0012】

ここで、前記映像物情報が、前記データ放送ストリームによって所定の間隔で繰り返し伝送されている場合に、前記受信端末装置は、前記データ放送ストリームによって所定の間隔で繰り返し伝送される映像物情報群の中から、前記特定した映像物についての映像物情報を抽出するようにしてもよい。

【0013】

さらに、本発明は、伝送ストリームを受信する受信手段と、前記伝送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、受信した前記伝送ストリームに含まれる時刻管理情報および第1の個別ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザの操作による第1の指示を受け付けた場合に、前記時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得する時刻情報取得手段と、前記時刻情報取得手段により前記取得された指示時刻情報と前記記憶手段に記憶された表示時刻情報とに基づいて前記表示された映像物を特定する特定手段と、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に前記特定手段により特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とする受信端末装置である。

【0014】

また、本発明は、上記受信端末装置の機能を含んだテレビジョン装置としても把握することができる。具体的には、本発明は、伝送ストリームを受信する受信手段と、前記受信手段により受信した伝送ストリームに含まれる第1の個別ストリームを復号してビデオ信号を生成する生成手段と、前記受信手段により受信した伝送ストリームに含まれる時刻管理情報に従って、前記生成手段により生成された前記ビデオ信号に基づく映像を画面に表示する第1の表示制御手段と、前記画面に表示されるべき映像中の映像物についての映像物情報と前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶する記憶手段と、ユーザの操作による第1の指示を受け付ける第1の操作受付手段と、前記時刻管理情報に基づいて前記第1の操作受付手段が前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取

得する時刻情報取得手段と、前記時刻情報取得手段により前記取得された指示時刻情報と前記記憶手段に記憶された表示時刻情報とに基づいて前記表示された映像物を特定する特定手段と、ユーザによる第2の指示を受け付ける第2の操作受付手段と、前記第2の操作受付手段により受け付けられた第2の指示に従って、前記特定手段により特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示する第2の表示制御手段とを備えたことを特徴とするテレビジョン装置である。

【0015】

また、ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報と、前記映像物が表示されるべき画面上の位置情報とを対応付けて記憶しておき、受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる位置指定操作に基づいて位置情報を取得するとともに、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、前記取得された指示時刻情報と前記位置情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置である。

【0016】

さらに、上記物のカテゴリーに属する発明は、方法のカテゴリーに属する発明として把握することもできる。具体的には、本発明は、ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置の制御方法である。

【0017】

同様に、本発明は、伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、受信した前記伝送ストリームに含まれる映像放送ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、前記伝送ストリームに含まれる時間管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、前記特定した後に受信した伝送ストリームに含まれるデータ放送ストリームの中から前記特定した映像物についての映像物情報を抽出し、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記抽出された映像物情報を前記画面に表示することを特徴とする受信端末装置の制御方法である。

【0018】

なお、本発明においては、以下のような特定事項をさらに備えることもできる。

【0019】

すなわち、前記時刻管理情報は、前記ストリームに対する時間軸上の特定位置からの相対位置を示すようにしてもよい。

【0020】

また、前記受信端末装置は、前記表示された映像物を特定した場合に、前記画面に所定の標章を表示するようにしてもよい。ここで、標章とはアイコン等のシンボルのみならず、テキスト文字であってもよい。

【0021】

さらに、前記受信端末装置は、前記特定された映像物を注文するための注文内容を入力する入力画面を表示するようにしてもよい。この場合、前記受信端末装置は、通信回線を介して前記入力画面に入力された注文内容を発注するように構成してもよい。

【0022】

また、前記受信端末装置は、前記表示された映像物を複数特定した場合に、前

記特定された複数の映像物のそれぞれを前記画面に一覧表示するようにしてもよい。この場合、一覧表示された映像物について、ユーザが選択することにより、当該選択された映像物についての映像物情報を表示するように構成する。

【0023】

また、前記受信端末装置は、前記映像物情報を削除するための制御データ（シナリオデータ）に従って、前記記憶された映像物情報を削除するようにしてもよい。この場合、制御データは、例えばデータ放送ストリームとして伝送される。

【0024】

さらに、上記発明は、コンピュータに所定の機能を実現させるプログラムとして構成することもできる。具体的には、受信端末装置に所定の機能を実現させるプログラムを記録した記録媒体であって、前記プログラムは、伝送ストリームを受信させる手段と、前記伝送ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶させる手段と、受信した前記伝送ストリームに含まれる時刻管理情報および第1の個別ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザの操作による第1の指示を受け付けた場合に、前記時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得させる手段と、前記時刻情報取得手段により前記取得された指示時刻情報と前記記憶手段に記憶された表示時刻情報とに基づいて前記表示された映像物を特定させる手段と、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示させる手段とを備えたことを特徴とするプログラムを記録した記録媒体であってもよい。

【0025】

さらに、本発明は、コンピュータが行う処理の内容を記録媒体に記録された所定のデータに基づいて特定することができる。すなわち、本発明は、データを記録した記録媒体であって、前記データは、ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物データと前記映像物が表示されるべき表示時刻データと前記映像物についての映像物情報ファイルを示すポインタとが対応付けて構成され、前記映像物データは、受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユ

ーザによる第1の指示を受け付けた場合に取得される指示時刻データと前記表示時刻データとに基づいて特定されるものであり、前記映像物情報ファイルは、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物データに対応づけられたポインタによって読み出されるものであることを特徴とするデータを記録した記録媒体であってもよい。

【0026】

なお、前記記録媒体とは、例えば、ハードディスク（HD）、DVD-RAM、フレキシブルディスク（FD）やCD-ROM等のほかに、RAMやROM等のメモリを含む。また、前記コンピュータとは、例えば、CPUやMPUといったいわゆる中央処理装置がプログラムを解釈することで所定の処理を行う、いわゆるマイクロコンピュータ等を含む。

【0027】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について、図面を参照しつつ説明する。

【0028】

本発明の実施形態では、主としてデジタル放送サービスを前提としている。すなわち、デジタル放送サービスでは、テレビ放送は、ビデオ信号やオーディオ信号が符号化されたデジタルデータのビット列（ストリーム）が伝送媒体を介してユーザ（視聴者）に配信され、これを受信した受信端末装置によって復号化され、映像や音声として出力される。また、データ放送は、各種表示データやシナリオデータがストリームとして配信され、受信端末装置によってこれらのデータが処理される。このようなデジタル放送サービスを実現するための技術としてMP EG2、DSM-CCやMH EG等が知られている。そこで、本実施形態では、これらの技術を例に説明することとする。

【0029】

以下、本発明を適宜機能的に表現した機能実現手段により構成される機能ブロック図を用いて説明する。

【0030】

〔第1の実施形態〕

図1は、本発明に係る放送事業者側のシステム構成を示す図である。同図において、映像音声データ記憶部11は、通常のテレビジョン放送による番組のためのビデオデータおよびオーディオデータを記憶する。本明細書では、ビデオデータおよびオーディオデータを1つの映像音声データとして扱うこととする。データ放送データ記憶部12は、データ放送用のデータ（データ放送データ）を記憶する。データ放送データは、テキストデータ、静止画データ、オーディオデータ、受信端末装置を制御するためのプログラム（シナリオデータ）、画面を構成する表示オブジェクトデータ等により構成される。シナリオデータは、例えば、MPEG等によって表示形態や動作形態が記述されたものである。本実施形態では、後述する対照情報および映像物に関する情報（映像物情報）がデータ放送データとしてユーザに配信される。

【0031】

なお、通常のテレビジョン放送とは、映像、音声で構成される放送をいう。また、データ放送とは、上記テレビジョン放送以外の放送をいい、主にテキスト、静止画、音声等により構成される。通常のテレビジョン放送による番組をメインの番組と呼び、このメインの番組に関連するデータ放送による番組を関連データ放送番組と呼ぶことにする。

【0032】

運行制御部13は、予め設定された放送運行スケジュールに従って、放送を運行するために、MPEGエンコーダ14およびDSM-CC (Digital Storage Media-Command and Control) エンコーダ15を制御する。また、運行制御部13は、放送運行スケジュールを時刻参照情報生成部16に送出し、ノーマル・プレイ・タイム参照情報生成部（以下「NPT-R生成部」という。）16は、送出される放送運行スケジュールに基づいてノーマル・プレイ・タイム参照情報（NPT-R; Normal Play Time-Reference）を生成し、DSM-CCエンコーダ15にこれを送出する。

【0033】

MPEGエンコーダ14は、運行制御部13の制御の下、映像音声データ記憶部11から映像音声データを読み出してこれを符号化し、MPEG多重化部17

に送出する。

【0034】

DSM-CCエンコーダ15は、運行制御部13の制御の下、データ放送データ記憶部12からデータ放送データを読み出して、NPT-R生成部16から送出されるノーマル・プレイ・タイム参照情報NPT-Rとともに符号化してMP EG多重化部17に送出する。

【0035】

MPEG多重化部17は、符号化された映像音声データ（映像音声ストリーム）とデータ放送データ（データ放送ストリーム）を多重化して1つの伝送ストリームを生成する。MPEG多重化部17は、多重化する際に、時刻基準参照情報PCR（Program Clock Reference）や記述子を必要に応じて重畳する。MPEG多重化部17は、多重化した伝送ストリームをデジタル変調部15に送出する。

【0036】

デジタル変調部18は、多重化されたストリームを所定の変調方式でデジタル変調し、送信部19にこれを送出する。所定の変調方式としては、例えば、8PSK方式やOFDM方式があげられる。送信部19は、デジタル変調されたストリームを放送衛星に向けて伝送する。

【0037】

なお、本実施形態において、衛星放送を例に説明したが、これにこだわるものではなく、地上波放送、通信放送、有線放送等であってもよい。

【0038】

図2は、本実施形態に係る受信端末システムの構成例を示す図である。受信端末システムは、図1に示した送信部19より放送衛星を介して伝送される電波（伝送ストリーム）を受信するアンテナ21と、その受信したストリームを選局し、復号する受信端末装置22と、復号された映像音声データに基づいて映像や音声を出力する出力装置23と、受信端末装置22または出力装置23に対してユーザが操作を行うリモートコントローラ24と、電話回線を介して通信を行うためのモデム25から構成される。

【0039】

同図における受信端末システムは、受信端末装置 22 や出力装置 23、モデム 25 とを別々に構成したが、適宜、一体型の受信端末装置としても構成することができる。リモートコントローラ 24 は、例えば、電源 ON/OFF ボタン、チャンネル選局ボタン等が設けられ、ユーザが押下したボタンに対応する赤外線信号を受信端末装置 22 の操作受信部が受信する。また、リモートコントローラ 24 の代わりとして、機器のフロント部等に操作パネルを構成するようにしてもよい。

【0040】

図 3 は、本実施形態に係る受信端末装置の構成を示す機能ブロック図である。同図において、ストリーム受信部 301 は、アンテナ 21 から供給されるストリームの中から、所望の放送チャンネルに対応するストリームを選択、復調して TS デコーダ 302 に送出する。所望の放送チャンネルに対応するストリームは、操作情報受信部 302 を介して操作部 303 から指示されるユーザのチャンネル選局に従って選択される。

【0041】

DEMUX (Demultiplexer) 304 は、選択されたストリームの中から時刻基準参照情報 PCR、映像音声ストリーム、ノーマル・プレイ・タイム参照情報 NPT-R およびデータ放送ストリームを分離、抽出する。DMUX 304 は、時刻基準参照情報 PCR を時刻情報管理部 305 に送出するとともに、映像音声ストリームおよびデータ放送ストリームをオーディオ・ビデオデコーダ（以下「VA デコーダ」という。）306 またはデータ放送デコーダ 307 にそれぞれ送出する。

【0042】

時刻情報管理部 305 は、生成される基準時刻情報 STC を必要に応じて時刻基準参照情報 PCR によって校正するとともに、再生される映像音声ストリームの時間情報を管理する。

【0043】

MPEG-VA デコーダ 306 は、抽出された映像音声ストリームを、時間情

報管理部 305 から送出される基準時刻情報 S T C に従って復号し、出力制御部 308 に送出する。

【0044】

データ放送デコーダ 307 は、送出されたデータ放送ストリームの中からノーマル・プレイ・タイム参照情報 N P T - R を抽出し、これを時間情報管理部 305 に送出する。また、データ放送デコーダ 307 は、送出されたデータ放送ストリームをデータ放送データ記憶部 309 に送出する。データ放送データ記憶部 309 は、データ放送デコーダ 307 から送出されるデータ放送データを一時的に記憶する。

【0045】

出力制御部 308 は、送出される映像音声データに基づいてモニタ 310 およびスピーカ 311 を制御する。出力制御部 308 は、また、データ放送制御部 312 から送出されるデータ放送データに基づいてモニタ 310 およびスピーカ 311 を制御する。

【0046】

データ放送データ記憶部 309 は、データ放送ストリームとして伝送される対照情報および映像物情報並びに受信端末装置を制御するための M H E G データ（シナリオデータ）、アイコン等の表示オブジェクトデータ等を記憶する。対照情報は、メインの番組の放送によりモニタ 310 の画面に表示される映像物とその映像物が表示されるべき時刻に関する情報（表示時刻情報）とが対応づけられたデータであり、さらにその映像物についての映像物情報ファイルへのポインタを含む。本実施形態では、対照情報はメインの番組の放送開始に先立って伝送される。また、映像物情報は、メインの番組の放送に並行してカルーセル方式で伝送されるものとする。

【0047】

データ放送制御部 312 は、データ放送データ記憶部 309 から必要なデータ放送データを読み出して、これをモニタ 310 やスピーカ 311 によって出力すべく出力制御部 308 に送出する。データ放送制御部 312 は、放送事業者側で設定されデータ放送ストリームとして伝送されたシナリオデータやユーザの操作

による操作部 303 からの操作指示に従って制御される。本実施形態では、データ放送制御部 312 は、操作部 303 からの映像物特定指示によりモニタ 310 の画面に表示されている映像物を特定し、また、操作部 303 からの映像物表示指示により特定された映像物についての映像物情報をデータ放送画面として出力すべく（音声出力を含む。以下、同じ。）、出力制御部 308 に送出する。

【0048】

予約管理部 313 は、ユーザが操作部 303 を操作することによって再生予約をしたメインの番組の放送開始時間とその番組に関連するデータ放送（以下「関連データ放送」という。）の放送開始時間とを予約情報として管理する。予約管理部 315 は、予約したメインの番組に対する関連データ放送の開始時刻になるとそのデータ放送ストリームを受信するように、ストリーム受信部 301 を制御する。

【0049】

モデム部 314 は、電話回線等の通信回線に接続され、サービス事業者等が設置したサーバとデータ通信を行う。例えば、モニタ 310 に表示されたデータ放送画面に対して、ユーザが所定の必要事項を入力し、発注指示を行った場合に、モデム 314 は、その発注情報をサーバに送出する。

【0050】

次に、受信端末装置の各部の詳細を説明する。図 4 は、ストリーム受信部 301 の構成を示す図である。同図において、ストリーム受信部 301 は、チューナ 41、復調回路 42 およびエラー訂正回路 43 から構成される。チューナ 41 は、アンテナ 21 から供給されるストリームの中から、ユーザが選局したチャンネルに対応するストリームを選択し、復調回路 42 に送出する。復調回路 42 は、送出されたストリームを所定の方式で復調し、エラー訂正回路 43 に送出する。エラー訂正回路 43 は、復調されたストリームに対してエラーがあるか否かをチェックし、エラーを検出した場合には、エラー訂正等を行う。

【0051】

図 5 は、時刻情報管理部 305 の構成を示すブロック図である。時刻情報管理部 305 は、基準時刻情報管理部 51 と、再生時刻情報管理部 52 と、計時部 5

3 とから構成される。

【0052】

基準時刻情報管理部51は、DEMUX304から送出される時刻基準参照情報PCRに基づいて基準時刻情報STCを校正する。校正された基準時刻情報STCは、再生される映像音声ストリームの時間情報を管理する。

【0053】

再生時刻情報管理部52は、データ放送ストリームで伝送されるノーマル・プレイ・タイム参照情報NPTRを保持する。ノーマル・プレイ・タイム参照情報NPTRは、例えば、メインの番組の放送開始位置の基準時刻情報STCや任意位置を示すものである。

【0054】

計時部53は、メインの番組の放送時間を計時する。すなわち、計時部53は、基準時刻情報管理部51から送出される現在の基準時刻情報STCと再生時刻情報管理部52に保持されたノーマル・プレイ・タイム参照情報NPTRとに基づいて、放送（再生）されている映像音声ストリームの時間軸上の位置（ノーマル・プレイ・タイムNPT）を算出する。

【0055】

図6は、データ放送データ記憶部309に記憶された対照情報の一例を示す図である。同図に示すように、対照情報は、「NPT（表示時刻情報）」、「映像物名」および「映像物情報へのポインタ」から構成される。「NPT」は、「映像物名」で示される映像物がメインの番組中で表示される時間を番組の放送開始からの経過時間で示している。例えば、ダイニングテーブルであれば、放送開始直後の「00:00:00:00」から「00:00:10:54」までと、「00:00:13:25」から「00:00:19:11」までの間に表示されることを示し、カーテンであれば、「00:00:19:11」から「00:00:32:19」まで表示されることを示している。「映像物情報へのポインタ」は、映像物情報を格納しているファイル名を示している。映像物情報は、その映像物に関する詳細データである。例えば、ダイニングテーブルであれば、サイズ、重量、付属品や製造会社名、外観図（写真）等、ユーザがその映像物を購入

するか否かを判断する上で一般的に必要な情報がテキストデータおよびイメージデータで構成されている。

【0056】

図7は、データ放送制御部312の構成を示す機能ブロック図である。同図において、データ放送制御部312は、対照部71、特定映像物記憶部72および表示操作部73から構成される。

【0057】

対照部71は、操作部303から映像物特定指示が送出された場合に、計時部53を参照して現在のノーマル・プレイ・タイムNPTを指示時刻情報として取得し、この指示時刻情報に基づいてデータ放送データ記憶部309に記憶された対照情報を検索し、特定指示が送出された時点でモニタ310に表示されている映像物を特定する。対照部71は、対照情報のNPT（表示時刻情報）と指示時刻情報とを比較し、指示時刻情報で示される表示時刻情報に対応づけられた映像物とその映像物についての映像物情報ファイルを読み出して、特定映像物記憶部72に送出する。対照部71は、映像物を特定した場合、特定した映像物があることを示すシンボルをモニタ310の画面に表示すべく、その表示データを出力制御部308に送出する。

【0058】

例えば、ユーザの操作によって操作部303から映像物の特定指示が与えられ、対照部71は、計時部53を参照した結果、ノーマル・プレイ・タイムNPTの値として「00:00:07:43」を取得したとする。対照部71は、対照情報の「表示時刻情報」をチェックし、2番目の「00:00:05:08」に含まれるダイニングテーブルとそのファイル名"DiningTable"、イスと"Chair"およびカップと"Cup"を読み出して、特定映像物記憶部72に記憶する。そして、対照部71は、特定した映像物があることをユーザに通知するため、読み出した映像物分のシンボル（表示データ）を出力制御部308に送出する。

【0059】

表示操作部72は、操作部303から特定した映像物の表示指示が送出された場合に、特定映像物記憶部72に保持されている映像物とそのファイルに示され

る映像物情報を読み出して、出力制御部 308 に送出する。出力制御部 308 に送出された映像物情報は、モニタ 310 の画面に表示される。

【0060】

次に、以上のように構成された本実施形態に係る受信端末装置の動作処理を説明する。

【0061】

図 8 は映像音声データに対する受信端末装置の動作処理を説明するための図である。同図に示すように、受信端末装置は、まず、ストリームを受信すると、ユーザが選局したチャンネルのストリームを選択して、復調等を行う（STEP 801）。受信端末装置は、復調等されたストリームから映像音声ストリームを抽出する（STEP 802）。次に、受信端末装置は、基準時刻情報 STC に従って映像音声ストリームを復号する（STEP 803）。受信端末装置は、復号した映像音声ストリームに基づく映像音声をモニタ 310 およびスピーカ 311 から出力させる（STEP 804）。

【0062】

図 9 は、データ放送用データに対する受信端末装置の動作処理を説明するための図である。同図に示すように、受信端末装置は、ストリームを受信すると（STEP 901）、データ放送ストリームを分離、抽出する（STEP 902）。受信端末装置は、抽出したデータ放送ストリームをデコードして、その中にノーマル・プレイ・タイム参照情報 NPTR が含まれている場合には、それを抽出して再生時刻情報管理部 52 に記憶する（STEP 903、904）。一方、NPTR 以外のデータ放送データは、データ放送データ記憶部 309 に記憶する。

【0063】

図 10～図 12 は、ユーザの操作に対する受信端末装置の動作処理を説明するための図である。具体的には、図 10 は表示されている映像物の特定指示に対する受信端末装置の動作処理、図 11 は特定された映像物の表示指示に対する受信端末装置の動作処理、図 12 は注文に関する指示に対する受信端末装置の動作処理を説明するための図である。

【0064】

受信端末装置は、メインの番組の放送中に、操作部303から特定指示を受け付けると、図10に示すように、計時部53によって示される再生時刻情報（現在のNTP）を参照し、これを指示時刻情報として取得する（STEP1001）。次に、取得した指示時刻情報に基づいてデータ放送データ記憶部309に記憶されている対照情報を検索し、映像物を特定する。映像物の特定は、対照部71によって対照情報に示される表示時刻情報と指示時刻情報とを比較することにより行われる（STEP1002）。受信端末装置は、対照部71によって映像物を特定した場合には、その特定した映像物を特定物記憶部72に一時的に記憶し（STEP1004、1005）、特定したことをユーザに通知するため、所定のシンボルをモニタ310に表示すべく、表示データを出力制御部308に送出する。一方、特定できなかった場合には、その旨をユーザに通知するため、例えば、ピープ音等の出力制御を行う（STEP1006）。

【0065】

受信端末装置は、メインの番組の放送中またはメインの番組の放送終了後に、操作部303から表示指示を受け付けると、図11に示すように、特定映像物記憶部72に記憶された映像物の映像物情報を順に読み出す（STEP1101）。そして、受信端末装置は、読み出した映像物情報を必要な表示オブジェクトによってデータ放送画面を構成し、出力制御部308に送出する（STEP1102）。これにより、モニタ310にデータ放送画面が表示されることとなる。

【0066】

受信端末装置は、操作部303から注文に関する指示を受け付けると、データ放送制御部312によって注文画面を構成する表示オブジェクトを読み出して、同様に、モニタ310に表示し（STEP1201）、受信端末装置は、操作部303から注文に必要な項目の入力を受け付ける（STEP1202）。そして、操作部303から発注指示を受け付けると、通信回線を介して入力された項目を含めた発注情報をサーバに送信する（STEP1202）。

【0067】

次に、本実施形態に係る受信端末装置に対する操作およびその動作処理例につ

いて説明する。

【0068】

図13は、本実施形態に係る受信端末装置の使用例を説明するための図である。同図に示すように、ユーザは電子番組ガイド等の番組欄を参照し、ユーザ操作によってメインの番組の予約が与えられる（STEP1301）。この番組の予約により、関連データ放送がある場合には、メインの番組の放送開始時刻と関連データ放送番組の放送開始時刻とが予約情報として管理される。受信端末装置は、ユーザが予約した番組の関連データ放送の放送開始時間になると、関連データ放送ストリームの受信およびその蓄積を開始する（STEP1302、1303）。

【0069】

次に、受信端末装置は、メインの番組の放送開始時間になると、映像音声ストリームの受信して、メインの番組を再生（放送）する（STEP1304、1305）。メインの番組の放送中または放送終了後に、ユーザは必要であれば図14に示すような所定の操作を行う（STEP1206、1208）。例えば、図15に示されるように、ユーザはテレビ放送画面領域Tを視聴しながら、画面領域Tに映し出される映像についてセット、衣装、小道具等の興味のある映像物が表示された場合に、その映像物の特定指示を受信端末装置に与えるため、リモートコントローラの所定の操作ボタンまたは画面に表示されたボタンアイコンB1を押下する。受信端末装置は、ユーザの操作による映像物の特定指示を受け取ると、そのときの指示時刻情報を取得して、その指示時刻情報に基づき対照情報の中から映像物を特定する。このとき、映像物が特定されたことをユーザに通知するため、受信端末装置は、画面に特定されたことを示すシンボルFを表示する。また、ユーザが、所望のタイミングで表示指示を与えるため、リモートコントローラの所定の操作ボタンまたは画面に表示されたボタンアイコンB2を押下すると、受信端末装置は、データ放送画面領域Dにその特定された映像物についての映像物情報を表示する。このとき、複数の映像物が特定されている場合には、それぞれの映像物を一覧に表示し、その中からユーザに選択させるようにしてもよい。

【0070】

また、図16は、モニタ310に表示された画面の他の例を示す図である。同図に示すように、この画面の例では、特定されたことを示すシンボルとして、特定された映像物名をテレビ放送画面領域Tにオーバーラップして表示している。また、映像物情報を表示する場合には、同様に、メインの番組にオーバーラップして表示するようにしてもよい。

【0071】

以上のように、本実施形態によれば、例えば、テレビショッピング番組の放送中にユーザにとって興味のある商品等（映像物）が映し出された場合に、そのユーザはリモートコントローラを操作してその商品等を特定しておくことができるので、その商品等についての詳細情報（映像物情報）を、その番組の放送時間内だけでなく都合のよい時間に確認することができるようになる。すなわち、ユーザは、テレビ画面に興味のある商品等が映し出された場合には、あたかもその画面に「しおり」を差し込む感覚で手元のリモートコントローラのボタンを押下すれば、その画面に映し出されている商品等にマークをつけたことになり、放送終了後等のユーザにとって都合のよい時間にそのマークをつけた商品等についての詳細情報を画面に呼び出すことができるようになる。従って、商品等についての詳細情報を確認している間に、放送されている番組が進行してしまい、見逃してしまうという不都合を回避することができるようになる。また、メインの番組の画面内に映像物情報が表示されないようにすることができるため、番組視聴の妨げにならず、スポンサーとの間の利害調整も容易になる。

【0072】

また、本実施形態によれば、放送する番組の内容をテレビショッピングというジャンルに限定する必要がなく、ドラマや映画等の映像を用いてショッピングすることができるようになる。これにより、放送事業者は、メインの番組と関連データ放送とを組み合わせた新しいテレビショッピングサービスを提供することができるようになる。

【0073】

さらに、登場人物等のプロフィールを映像物情報としておけば、例えば、ドラ

マや映画等に登場した人物等のプロフィールを、番組放送終了後にチェックすることもでき、新しいテレビの楽しみ方を提供することができるようになる。

【0074】

なお、本実施形態において、ユーザの操作による指示時刻情報を取得するために、ノーマル・プレイ・タイムNPTを用いることとしたが、特にこれにこだわるものではない。

【0075】

例えば、映像音声ストリームまたはデータ放送ストリームによって伝送されるサービス情報SI (Service Information) のTDT (Time and Date Table) によって示される現在日時情報を利用してもよい。また、基準時刻情報STCのみを用いるようにしてもよい。さらに、番組の放送開始時刻からの相対時刻情報を用いるのではなく、絶対時刻情報を用いるようにしてもよい。例えば、GPS (Global Positioning System) によって受信する信号を用いるようにしてもよい。

【0076】

また、実際のテレビ放送においては、メインの番組の放送時刻の変更が生じる場合も想定される。このような場合には、上述のノーマル・プレイ・タイムNPTを用いる以外に、時刻基準参照情報PCR (またはSCR) に補正情報を与え、基準時刻情報STCを補正するようにしてもよい。一方、変更後の内容の対照情報を新たに伝送するようにしてもよい。

【0077】

[第2の実施形態]

図17は、本実施形態に係る受信端末装置の動作処理を説明するための図である。本実施形態は、ユーザの映像物特定指示があった後に、カルーセル方式で伝送されてくる映像物情報の中から特定した映像物についての映像物情報を抽出し、記憶することを特徴とする。これにより、必要な映像物情報のみを記憶すれば足り、記憶領域の節約することができる。なお、対照情報は、上記実施形態と同様に、メインの番組の放送に先立って伝送され、蓄積されているものとする。

【0078】

同図において、受信端末装置は、データ放送ストリームを受信し（STEP 1701）、それがノーマル・プレイ・タイム参照情報NPT-Rである場合には、再生時刻情報管理部52に記憶する（STEP 1702、1703）。受信端末装置は、メインの番組の放送中に、操作部303からの特定指示を受け付けた場合には、再生時刻情報（NP）を参照し、指示時刻情報を取得する（STEP 1704、STEP 1705）。受信端末装置は、取得した指示時刻情報に基づいて対照情報を検索し、映像物を特定し（STEP 1706）、カルーセル方式で伝送されてくる映像物情報の中から特定した映像物についての映像物情報を受信する（STEP 1707）。

【0079】

受信端末装置は、特定した映像物についての映像物情報を受信すると、その映像物情報を記憶し（STEP 1708）、受信したことをユーザに通知するためのシンボルをモニタ310の画面に表示する（STEP 1709）。

【0080】

以上のように、本実施形態によれば、上記第1の実施形態と同様の効果を奏することができるとともに、特定した映像物についての映像物情報を、特定後にカルーセル方式で伝送されるストリームの中から抽出するようにしているので、必要な映像物情報のみを記憶すれば足り、受信端末装置のメモリを節約することができるようになる。

【0081】

[第3の実施形態]

本実施形態に係る受信端末装置は、映像物の特定指示の際に、画面上の位置情報を入力し、指示時刻情報とともに入力された位置情報を用いて映像物を特定することを特徴とする。従って、本実施形態に係る対照情報は、映像物が表示される時刻を示す表示時刻情報とその映像物が画面上のどの位置に表示されるかを示す位置情報とを含んで構成される。

【0082】

図17は、本実施形態に係る受信端末装置を用いた操作例を説明するための図

である。同図（a）に示すように、ユーザは、モニタ 310 の画面に表示されるポインティングカーソルを、同図（b）に示すリモートコントローラ 24 の上下左右カーソルボタンを用いて操作する。そして、ユーザは、画面に映し出されている映像物をポインティングカーソルで指示したまま、特定指示のためのボタン B1 を押下する。受信端末装置は、ボタン B1 が押下されたときの指示時刻情報を取得するとともに、ポインティングカーソルが示す位置情報を取得して、これらの情報に基づいて対照情報を検索し、映像物を特定する。

【0083】

以上のように、本実施形態によれば、ユーザからの特定指示を受け付けて、対照情報から映像物を特定する際に、複数の映像物が候補として特定されるような場合であっても、さらに位置情報で絞り込むことができるため、ユーザにとって不要な映像物を特定する必要がなくなる。

【0084】

〔第4の実施形態〕

本実施形態は、データ放送データ記憶部 309 に記憶された映像物情報のうち、特定指示によって特定がされず不要となった映像物情報をデータ放送データ記憶部 309 から削除することを特徴とする。不要な映像物情報であるか否かは、映像物情報ファイルの有効期限を示すデータ（以下「有効期限データ」という。）として記述され、データ放送ストリームとして伝送される。

【0085】

すなわち、放送事業者側のシステムは、メインの番組の放送に先立ってまたはメインの番組の放送中に映像物情報とともに有効期限データをデータ放送ストリームとして伝送する。受信端末装置は、データ放送ストリームで伝送される不要ファイルチェックのための制御データを受信した場合には、データ放送制御部 312 は、データ放送データ記憶部 309 に記憶されている有効期限データを参照し、有効期限を経過している映像物情報ファイルを削除する。

【0086】

なお、図 6 に示した対照情報に、上記有効期限データを含めるように構成してもよい。

【0087】

〔その他の実施形態〕

上記実施形態においては、対照情報や映像物情報をデータ放送ストリームで受信端末に伝送することとしたが、特にこれに限定するものではない。例えば、これら対照情報や映像物情報を記録したCD-ROMやDVD-ROM等の記録媒体をユーザに配布し、受信端末装置がこれらの記録媒体から読み込むように構成してもよい。また、インターネットを介してこれらの情報を入手するようにしてもよい。さらに、受信端末装置で特定した指示時刻情報を記憶しておき、サービス提供事業者のサーバに接続した際に、その指示時刻情報に基づいてサーバに記憶された対照情報から映像物を特定して、その映像物情報をサーバから入手するようにしてもよい。

【0088】

また、上記実施形態に係る受信端末装置は、電話回線やインターネットを利用してサービス提供事業者のサーバに接続することとしたが、特にこれに限定されるものではない。例えば、双方向ケーブルテレビの上り回線を利用することにより、ケーブルテレビ局のコンピュータを介してサービス提供事業者のサーバに接続するようにしてもよい。

【0089】

さらに、上記実施形態においては、放送事業者からリアルタイムで伝送される映像音声ストリームを再生することを前提としたが、VTR等の記録装置にメインの番組の内容を録画しておき、録画内容を再生しながら同様に映像物の特定指示をするようにしてもよい。この場合、映像物情報等は、映像音声ストリームとともに記録しておいてもよいし、受信端末装置に蓄積しておいてもよい。

【0090】

また、上記実施形態において、対照情報をメインの番組の放送開始に先立って伝送されるものとしたが、特にこれに限定されるものではなく、メインの番組の放送と並行するように、対照情報を伝送したり、また、繰り返し伝送するようにしてもよい。

【0091】

【発明の効果】

以上のように、本発明によれば、番組放送中に画面に映し出された映像物を特定しておき、番組放送終了後の任意の時点でその映像物についての商品情報を提示することのできる受信端末装置を提供することができるようになる。これにより、新しいテレビの視聴形態を提供することができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る放送事業者側のシステム構成を示す図

【図2】

本実施形態に係る受信端末システムの構成例を説明するための図

【図3】

本実施形態に係る受信端末装置の構成を示す機能ブロック図

【図4】

ストリーム受信部の構成を示す機能ブロック図

【図5】

時刻情報管理部の構成を示すブロック図

【図6】

データ放送データ記憶部に記憶された対照情報の一例を示す図

【図7】

データ放送制御部の構成を示すブロック図

【図8】

映像音声データに対する受信端末装置の動作処理を説明するための図

【図9】

データ放送用データに対する受信端末装置の動作処理を説明するための図

【図10】

ユーザの操作に対する受信端末装置の動作処理を説明するための図

【図11】

ユーザの操作に対する受信端末装置の動作処理を説明するための図

【図 1 2】

ユーザの操作に対する受信端末装置の動作処理を説明するための図

【図 1 3】

第 1 の実施形態に係る受信端末装置の使用例を説明するための図

【図 1 4】

ユーザの操作を説明するための図

【図 1 5】

第 1 の実施形態に係るモニタ画面の表示の一例を示す図

【図 1 6】

第 1 の実施形態に係るモニタ画面の表示の一例を示す図

【図 1 7】

第 2 の実施形態に係る受信端末装置の動作処理を説明するための図

【図 1 8】

第 3 の実施形態に係る受信端末装置を用いた操作例を説明するための図

【符号の説明】

2 1 … アンテナ

2 2 … 受信端末装置

2 3 … テレビ受像機

2 4 … リモートコントローラ

3 0 1 … ストリーム受信部

3 0 2 … 操作情報受信部

3 0 3 … 操作部

3 0 4 … D E M U X

3 0 5 … 時刻情報管理部

3 0 6 … M P E G - V A デコーダ

3 0 7 … データ放送デコーダ

3 0 8 … 出力制御部

3 0 9 … データ放送データ記憶部

3 1 0 … モニタ

3 1 1 …スピーカ

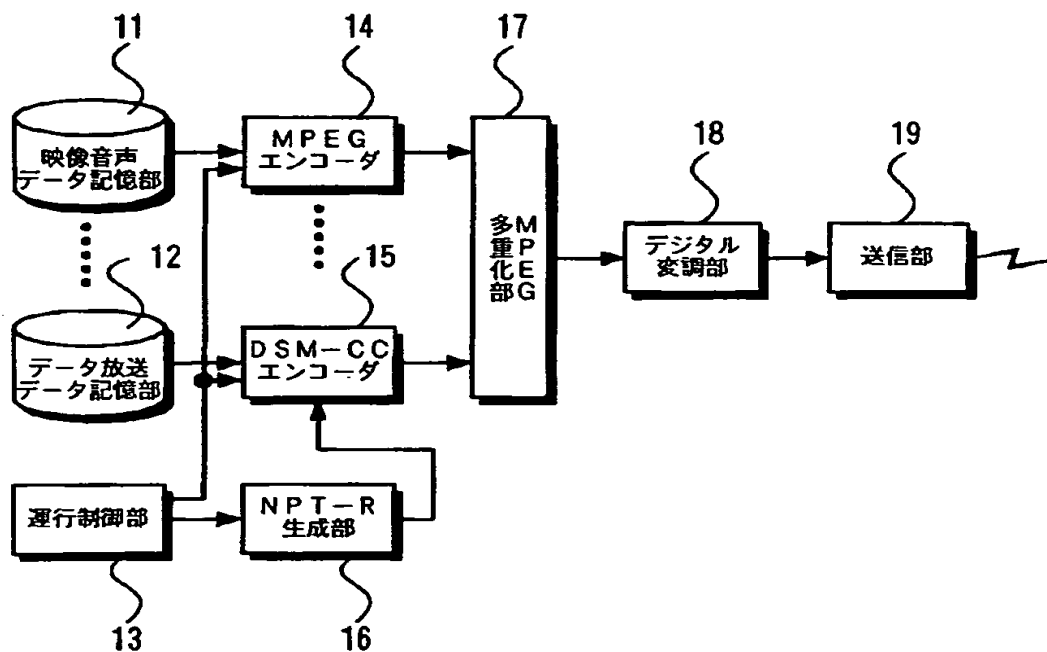
3 1 2 …データ放送制御部

3 1 3 …予約管理部

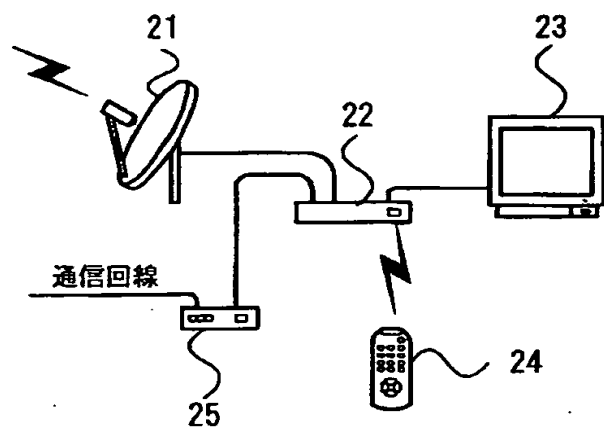
2 5, 3 1 4 …モデム

【書類名】 図面

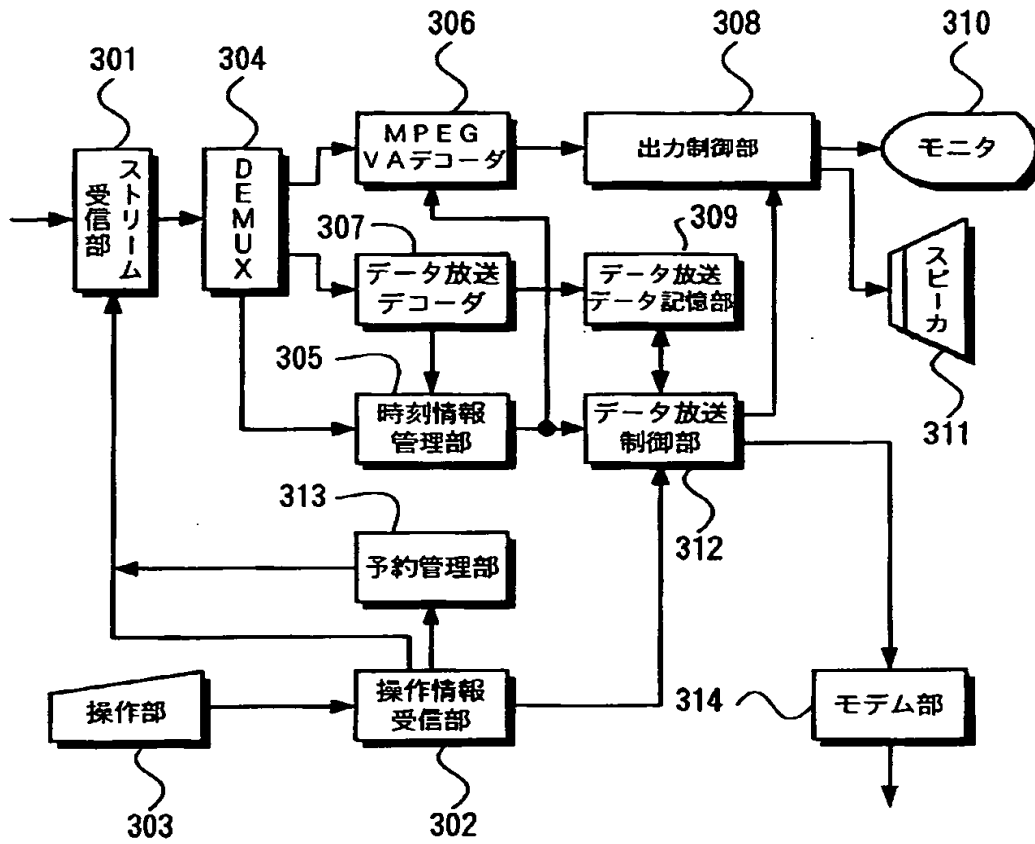
【図 1】



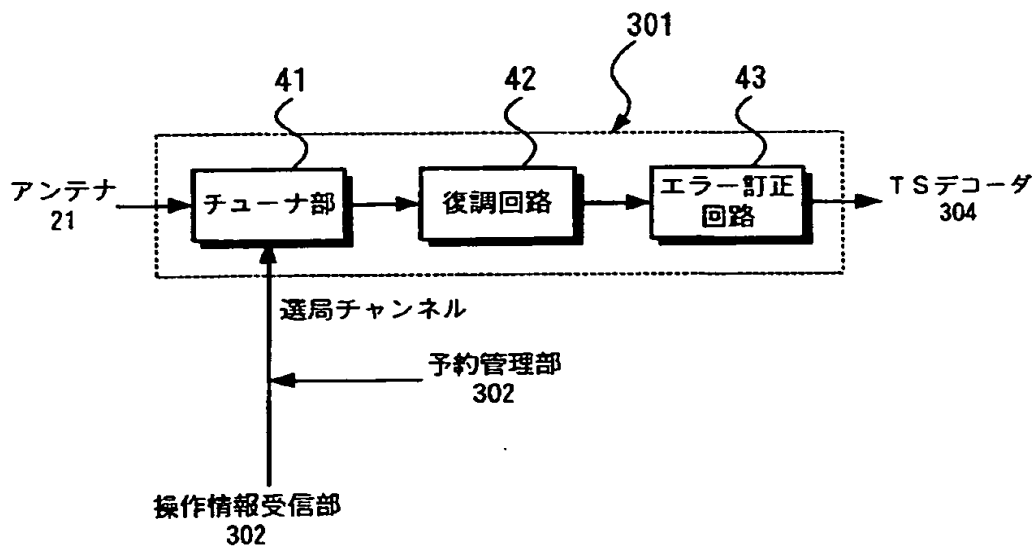
【図 2】



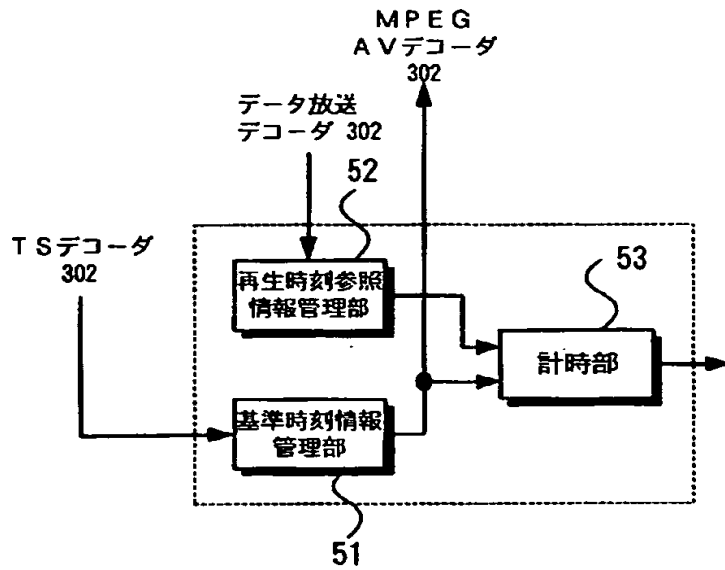
【図 3】



【図 4】



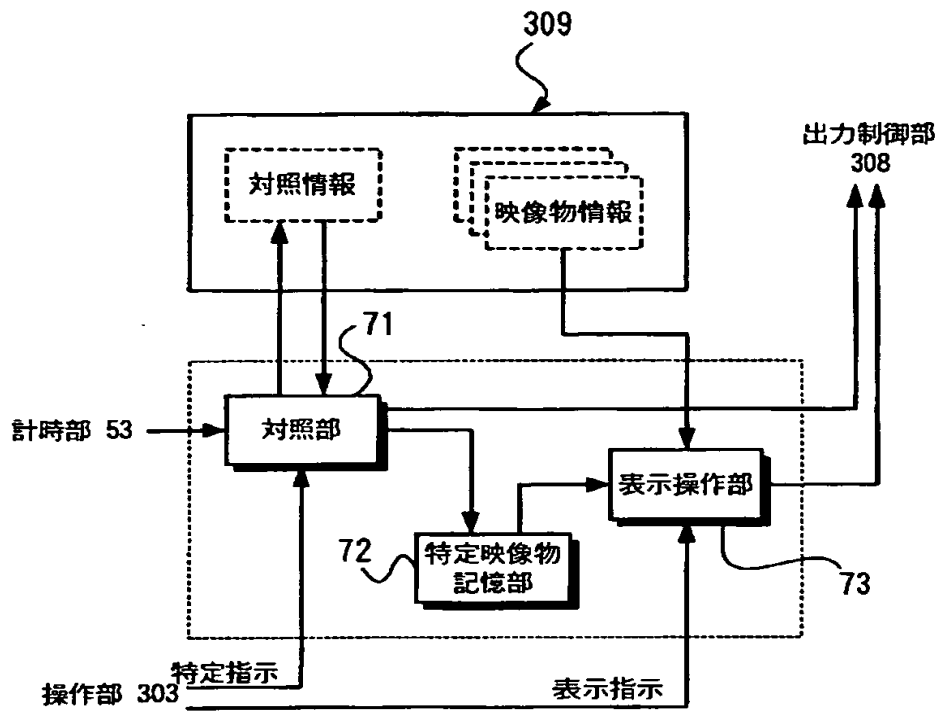
【図 5】



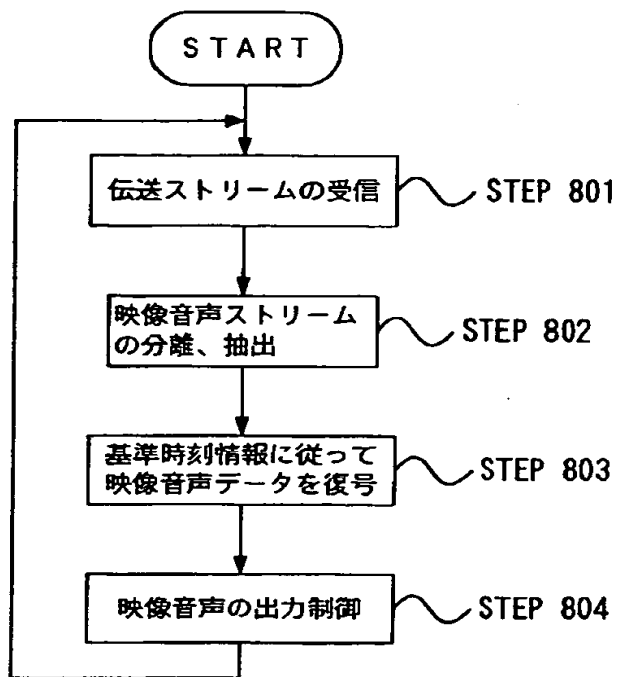
【図 6】

NPT	映像物名	映像物情報ファイル
00:00:00:00	ダイニングテーブル	DiningTable
	イス	Chair
00:00:05:08	ダイニングテーブル	DiningTable
	イス	Chair
	カップ	Cup
00:00:10:55	null	
00:00:13:25	ダイニングテーブル	DiningTable
	食器棚	Sideboard
	カップ	Cup
00:00:19:11	カーテン	Curtain
	食器棚	Shelf
00:00:28:02	カーテン	Curtain
	食器棚	Shelf
	花瓶	Vase
00:00:32:19	ベッド	Bed
	布団カバー	Cover
	枕	Pillow
00:00:42:32		

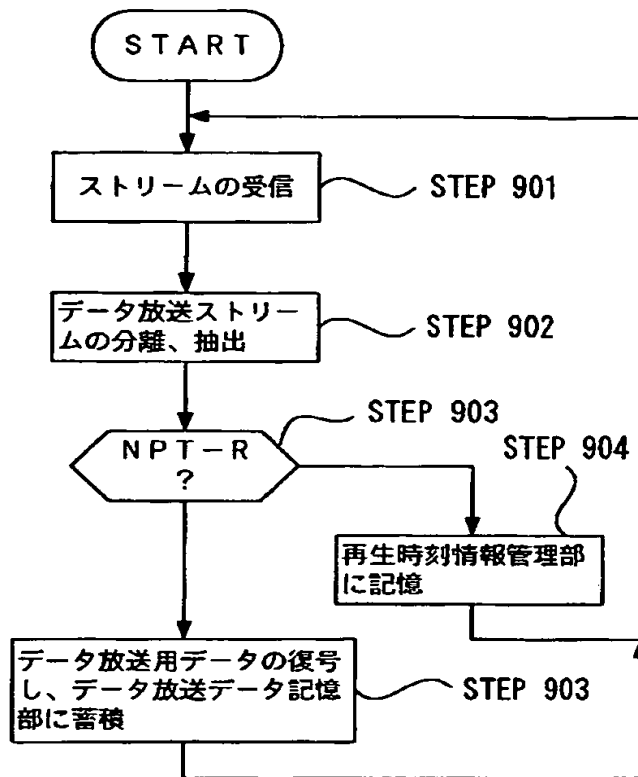
【図 7】



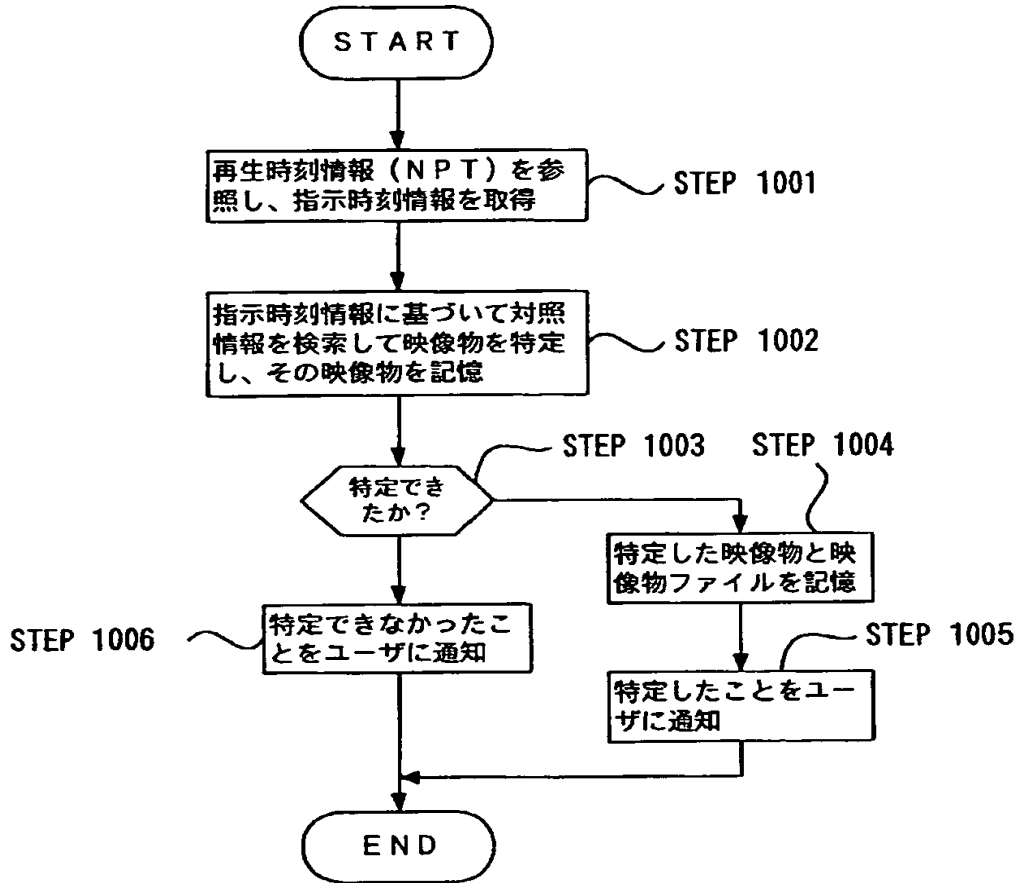
【図 8】



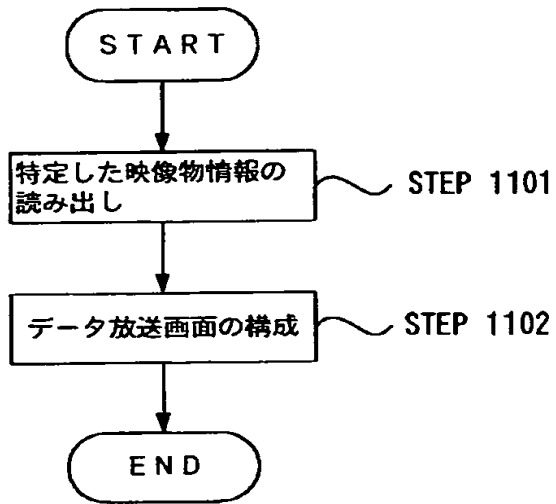
【図9】



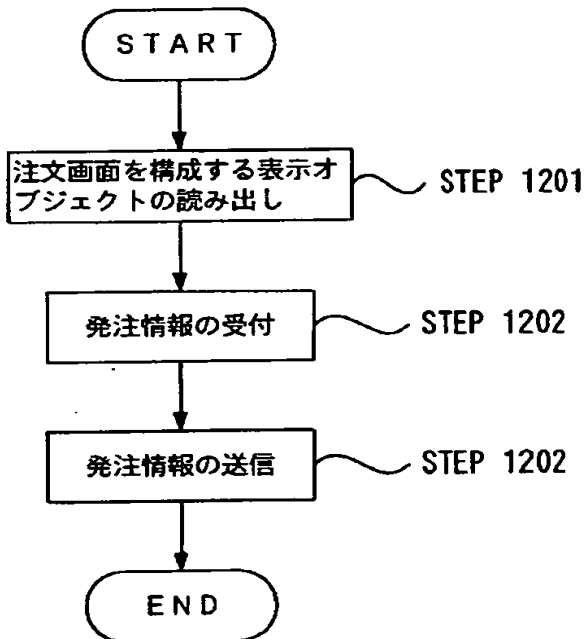
【図 10】



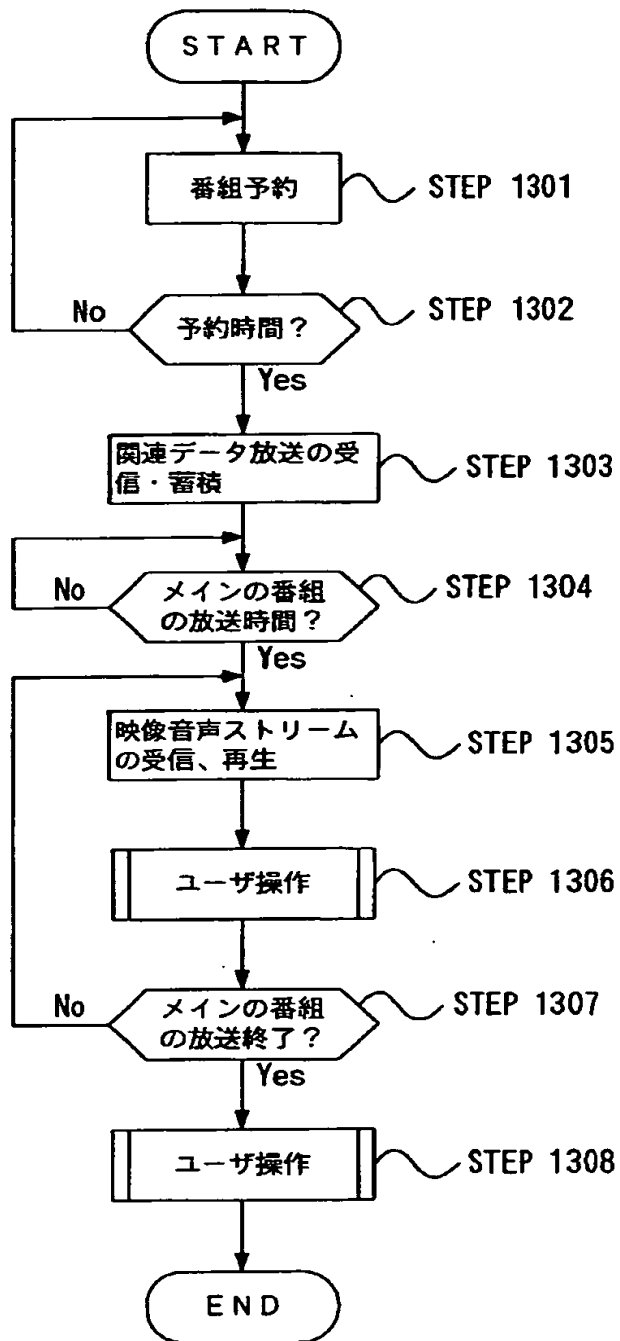
【図 11】



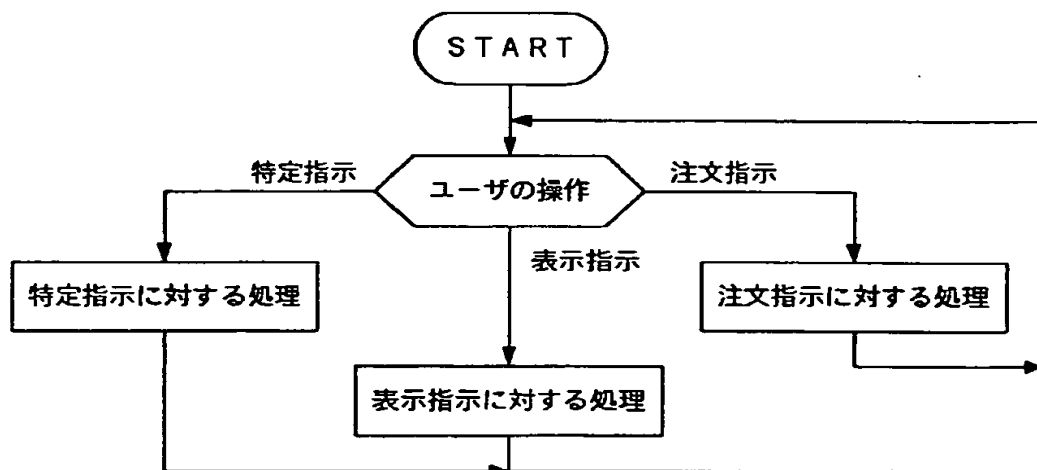
【図 12】



【図 1 3】

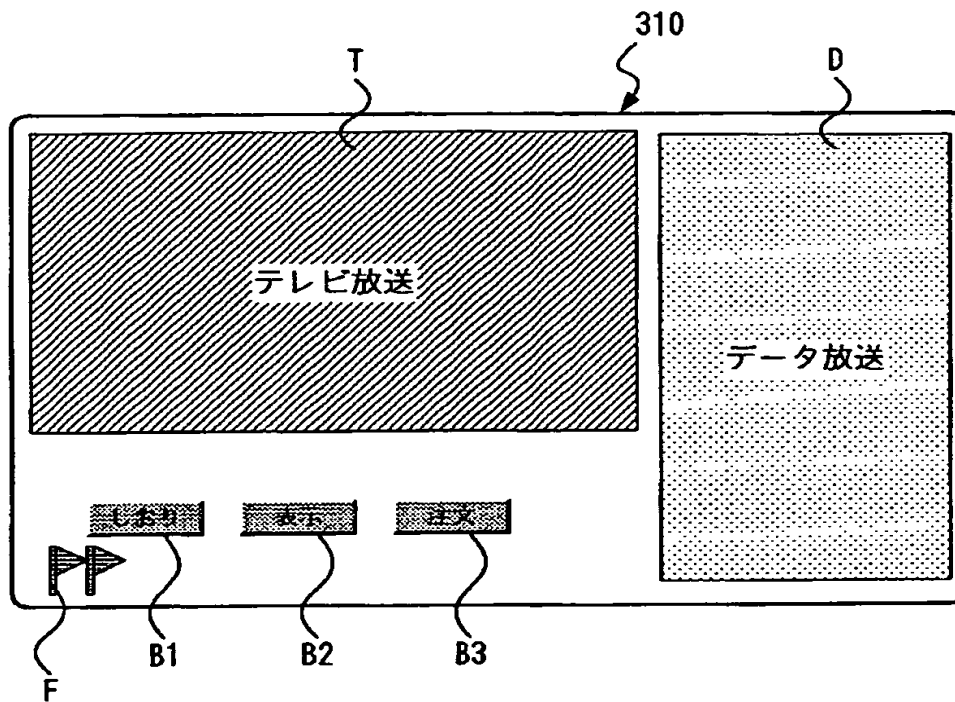


【図 14】

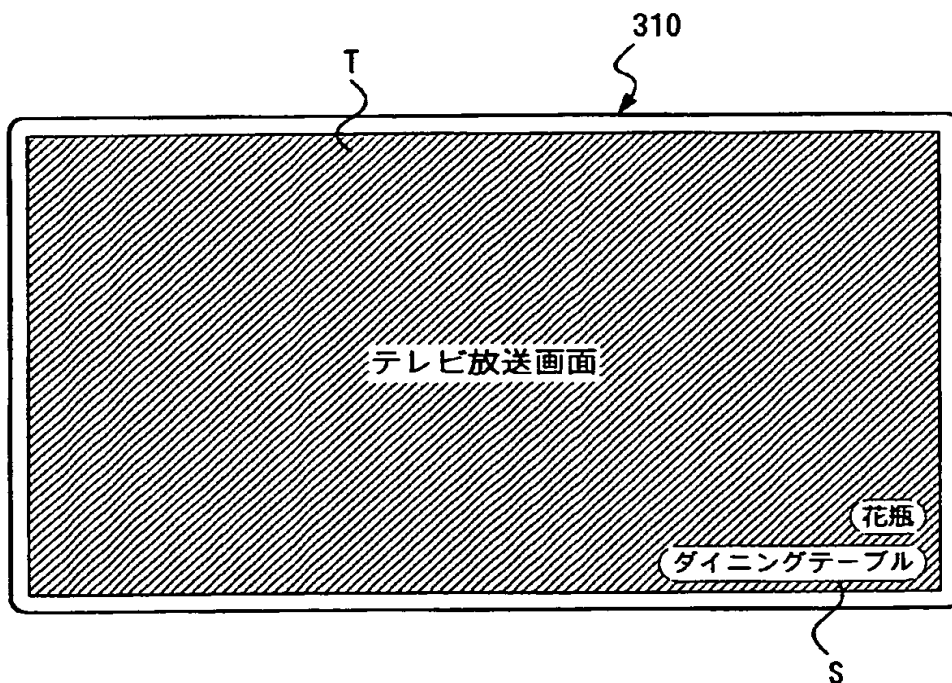


〜 STEP 1404

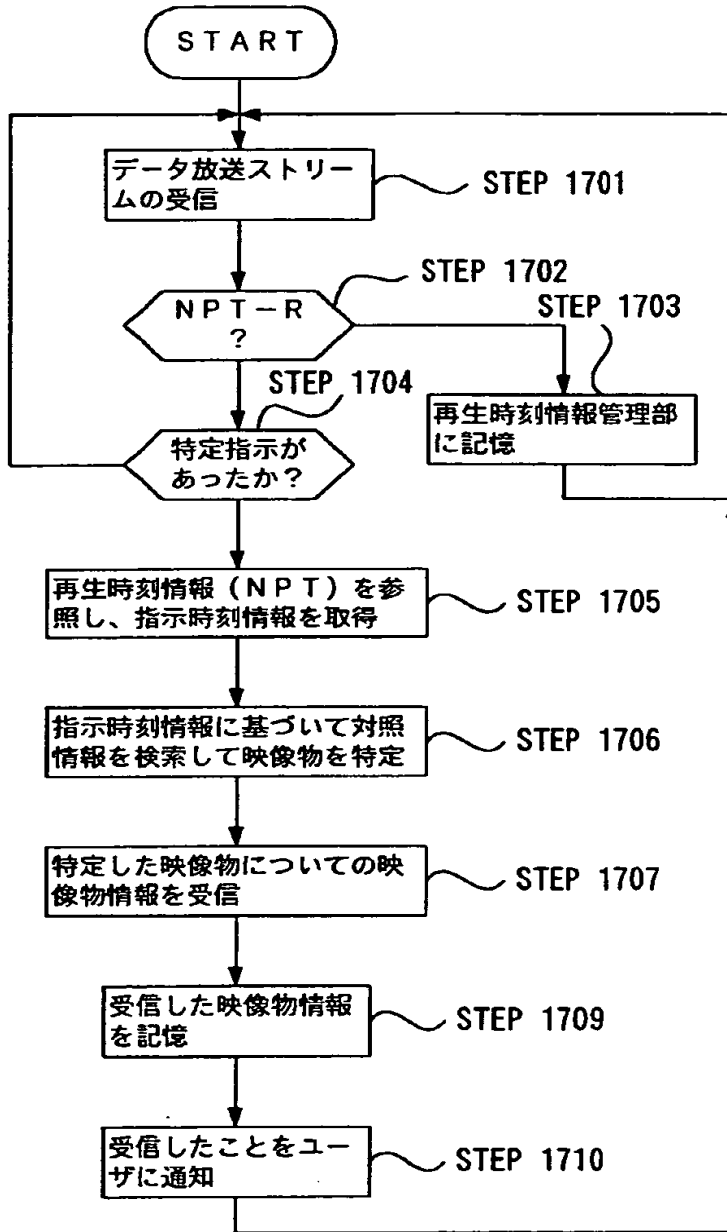
【図 15】



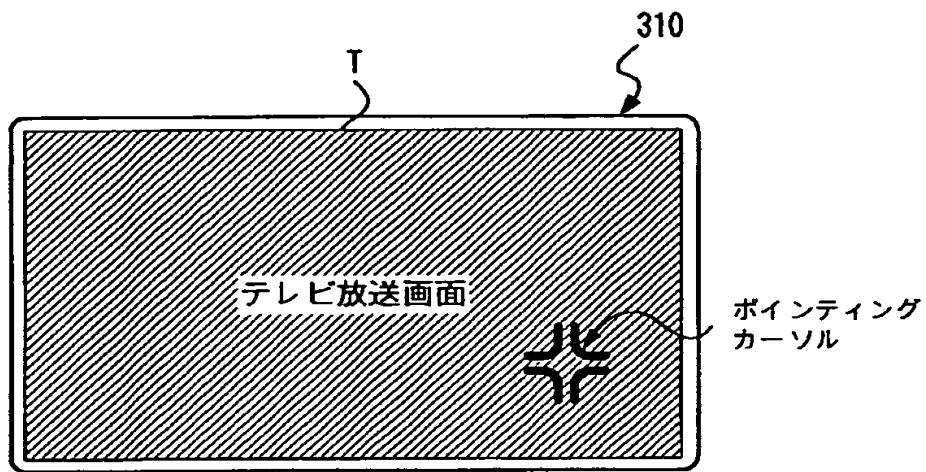
【図 16】



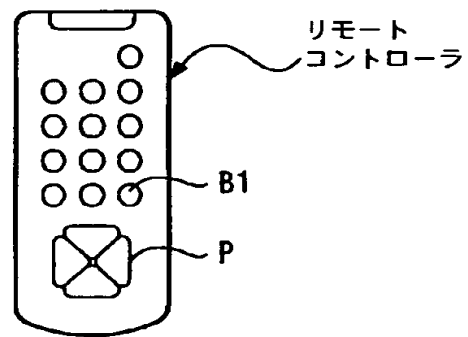
【図 17】



【図 18】



(a)



(b)

【書類名】 要約書

【課題】 番組放送中に画面に映し出された商品を特定しておき、番組放送終了後にその商品についての商品情報を提示することのできる受信端末装置を提供する。

【解決手段】 本発明は、ストリームに基づいて画面に表示されるべき映像物についての映像物情報と、前記映像物が表示されるべき表示時刻情報とを対応付けて記憶しておき、受信した前記ストリームに基づいて画面に映像物が表示され、ユーザによる第1の指示を受け付けた場合に、所定の時刻管理情報に基づいて前記第1の指示を受け付けたときの指示時刻情報を取得し、前記取得された指示時刻情報と前記記憶された表示時刻情報とに基づいて、前記表示された映像物を特定し、ユーザによる第2の指示を受け付けた場合に、前記特定された映像物についての映像物情報を前記画面に表示するように構成した受信端末装置である。

【選択図】 図2

【書類名】

職権訂正データ

【訂正書類】

特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

591084850

【住所又は居所】

東京都港区赤坂5丁目3番6号

【氏名又は名称】

株式会社東京放送

【代理人】

申請人

【識別番号】

100079108

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル8階 T
MI 総合法律事務所

【氏名又は名称】

稲葉 良幸

【選任した代理人】

【識別番号】

100080953

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル8階 T
MI 総合法律事務所

【氏名又は名称】

田中 克郎

【選任した代理人】

【識別番号】

100093861

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 37森ビル80
3号 TMI 総合法律事務所

【氏名又は名称】

大賀 眞司

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [591084850]

1. 変更年月日	1991年 4月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区赤坂5丁目3番6号
氏 名	株式会社東京放送